

けやき 2月号



— 自ら学び、心豊かな、たくましい子どもを育成する —



内代まつりのご参観ありがとうございました。

一昨日は、今年度最後の土曜授業「内代まつり」に多数ご参加いただきありがとうございました。児童会主催で、企画と運営を子どもたちで進めた「内代まつり」では、運動会や作品展等の学校行事と違った子どもたちのいきいきした姿を見ていただいたと思います。内代まつりは、自分たちで考えたゲームで他の人たちを接客するという、ある意味「お店屋さんごっこ」です。それぞれのお店では、遊びにきた人を楽しんでもらうための様々な工夫が見られました。

今、テレビゲームの出現により、子どもの他人との関わり、特に会話の機会が減ったといわれています。それだけではなく、問題解決能力も低下したといわれています。そのため、教育現場では子ども一人一人のコミュニケーション能力を高めるとともに、様々な困難に立ち向かうことができる力をつけることが大きな課題となっています。

最近の低学年の子どもたちと昔の子どもたちの遊びを比べてみると、大きく違っていると思われるのが「ごっこ遊び」の機会でしょう。私たちの子どもころを振り返ってみると、何かを他のものに見立てて遊ぶことが多かったように思います。ままごとでは、お父さん役やお母さん役、そして子ども役に分かれて遊びました。お店屋さんごっこでは、店員とお客になって遊びました。遊びの道具は、空き缶が鍋になり、板切れがお皿になりました。そして草や砂が料理の材料になりました。本物ではないものを本物と見立てて想像力を働かせながら楽しみました。当時の子どもたちは、ごっこ遊びの中で、想像力やコミュニケーション能力を高めていきました。また、他人になりきることで、他の人の立場になって考える心も養っていたことでしょう。さらには、お店屋さんごっこを通して、企業家精神も養っていたのかもしれませんね。

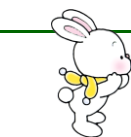
I C Tの発達で、ゲームの画面に現れる映像がよりリアルなものに変貌しつつあります。映像技術の進歩は、活用の仕方によれば子どもたちの発達に良い影響を与える疑似体験を生み出すかもしれません。しかし、今一度、昔の子どもたちが想像力を掻き立てながら夢中になっていた「ごっこ遊び」の復活を願うばかりです。

内代小学校長 内田 浩



学校ホームページには「けやき」のカラー版を掲載しています。

内代小学校でもインフルエンザと診断される子が増えてきています。手洗いうがいの励行やマスクの着用など予防に努めていただきますと共に、発熱等の症状が見られる場合は早めに医療機関の受診をお願いします。インフルエンザとの診断が出ましたら学校へも速やかにご連絡をお願いします。



2月の目標

生活目標 美しい学校にしよう
保健目標 心の健康を考えよう
給食目標 食後のすごし方をくふうしよう



2月の予定

1	月	代表委員会、出前授業（1年・2年：食育）
2	火	卒業遠足（6年：太秦映画村、金閣）
3	水	フッ化物塗布（4年）
4	木	新1年生保護者説明会、栄養指導（1年・5年）
5	金	栄養指導（4年・6年）
6	土	
7	日	
8	月	委員会活動
9	火	珠算教室（3年）
10	水	社会見学（3年：くらしの今昔館）、栄養指導（2年）
11	木	建国記念の日
12	金	栄養指導（3年）
13	土	
14	日	
15	月	クラブ活動
16	火	体験活動（3年：昔の道具体験）
17	水	たてわり活動（卒業生を祝う会）
18	木	
19	金	スクールカウンセラー来校日
20	土	
21	日	
22	月	クラブ活動（最終）
23	火	
24	水	体験活動（2年：スマイルとの交流）
25	木	
26	金	
27	土	
28	日	
29	月	代表委員会

